

浜松信用金庫の環境への取組みについて

【環境配慮型店舗の開設】

- 平成23年 8月 湖東支店を建て替え、太陽光発電、地熱利用システムを導入しました。
- 平成24年 5月 高丘支店を建て替え、自然換気システム、自然採光の取り入れ、雨水利用システムを導入しました。
- 平成24年 9月 本郷支店を建て替え、太陽光発電を導入しました。
- 平成25年11月 きらりタウン支店を新設し、太陽光発電、自然採光の取り入れ、雨水利用システム等を導入しました。
- 平成26年 3月 入野支店大平台出張所を新設し、太陽光発電、自然採光の取り入れ等を導入しました。
- 平成26年 5月 東支店を建て替え、太陽光発電、センサー付照明等を導入しました。
- 平成26年 9月 駅南支店を建て替え、太陽光発電、クール&ウォームソファ、コアンダ空調、地熱利用システム、色温度可変照明等を導入しました。
- 平成26年11月 葵町支店を新築移転し、太陽光発電、センサー付照明等を導入しました。
- 平成27年 4月 三方原支店を新築移転し、太陽光発電、自然採光、LED照明、雨水利用システム、自然換気システム、スポット空調、天竜材（ヒノキ）を利用した庇や格子等を導入しました。
- 平成27年 6月 袋井支店を新築し、太陽光発電、LED照明、全面ガラスによる採光等を導入しました。
- 平成27年10月 於呂支店を新築移転し、太陽光発電、LED照明等を導入するとともに、FSC認証材の中でも地元である天竜美林をふんだんに用いて、木造店舗として全国で初めてFSCプロジェクト認証店舗となりました。
また、「平成28年度 木材利用優良施設コンクール」において、林野庁長官賞を受賞しました。
- 平成28年 3月 三島支店を新築し、太陽光発電、LED照明、エコガラス、エコ外壁を導入しました。（下図参照）

今後も環境配慮型店舗を増やし、環境への負荷の軽減に努力していきます。



三島支店 外観

【CO₂削減に向けた緑化の推進】

当金庫レクリエーションセンター（総面積約3万5千平米）には天然芝の野球場、競技場の他、日本庭園等、敷地内に約1,500本以上の樹木が植えられており、職員の利用の他、地域の憩いの場としても親しまれています。

【静岡県地球温暖化防止活動推進センターへ寄付金を贈呈】

環境保全に寄与する金融商品として提供した「はましん子育て応援エコプラス定期積金」、「はましんカードローンエコきゃっする500」について、同商品の規定に基づき拠出した寄付金の一部を静岡県地球温暖化防止活動推進センターへ寄贈しました。

【環境経営方針の策定】

自然環境の維持および改善に努めることは企業市民としての社会的責任であり、環境への負荷の軽減に努力することは資源を消費する企業としての当然の責務であると認識しています。また環境保全活動等を通じて地域社会貢献に努めることは、地域金融機関として当金庫に課せられている役割であると考えます。

当金庫は、「環境経営方針」を定め、役職員が環境問題への取組みを継続的に実施してまいります。

【その他環境に対する取組み】

- 本部施策として、省エネタイプの空調機、照明器具への入れ替えを、計画に基づき実施しています。また、デマンド方式による消費電力の抑制も図っています。
- 「環境フォトメッセージ展」を開催しています。
「環境とは？」というテーマで、お客様の感性でとらえた写真をメッセージとともに募集して展示会を行い、受賞作品は、当金庫のカレンダーに使用しています。
- 夏休みに、「親子エコ教室」を開催しています。
講師の方からエコについての話を聞いたり、発電の体験を行ったりして、エコへ関心を持ってもらえる機会を設けています。